

さとう 健司

県政報告
Vol.15



平成28年2月県議会は、新年度当初予算案など110議案を可決して3月18日に閉会しました。これからも皆様の暮らしに寄り添い、子ども達が未来に夢を持てる県政の実現を目指して全力で取り組んでまいります。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆平成28年2月県議会 一般質問◆

小児保健医療センターの再整備が実現へ

これまで提案してきた小児保健医療センターの機能強化を改めて求めるとともに、新年度に策定される基本計画について質しました。

Q 小児保健医療センターの課題は？

A (知事) 小児保健医療センターは、他の病院では対応が困難な難治性慢性疾患を中心に専門医療機関として重要な役割を担ってきた。しかし、今後とも増加すると予測される疾患や新たな小児疾患に対して必要な診断、適切な治療、望ましい病院環境において改善すべき多くの課題があると認識している。

Q 小児保健医療センターの機能再構築の考え方は？
A (知事) 機能再構築の基本的な方向性としては、県内の小児医療提供体制の視点から適切な機能を担当すること、患者さんと家族にとって適切な診療と病院環境を構築すること、小児から成人まで生涯にわたる一連の診療体制を構築することの3点を旨に考えている。そのために患者さんを基軸とした診療体制・診療システムの構築と医療人材の交流を図っていく。

Q 小児保健医療センターの基盤整備について？
A (知事) 小児保健医療センターがこれまで果たしてきた役割や機能を踏まえつつ、課題に対応するための新たな機能を付加していくことが必要。組織の整備に関しては、成人病センターとの機能の一体化を図るため、両センターをあわせて新たな病院組織とする方向で検討していく。施設整備については今後、基本計画において具体的な内容をしっかりと整理していく。

解説

医療の進歩とともに新生児、乳児の死亡率が世界で最も低くなった反面、難治性疾患や重度の障害を有するため、医療や支援を必要とする子どもの数は増加しています。

昭和63年に開設された小児保健医療センターは、高度専門的な医療を提供するとともに、精密検診や保健指導といった小児保健の拠点となってきました。しかし、開設から30年近くが経過し、施設の狭小な狭い化など施設面での課題を抱え、施設整備を含め小児医療の充実、高度化に向けた機能強化は避けて通れません。

県はようやく、再整備に向けて動き出しましたが、一方で成人病センターとの一体化が打ち出されるなど、病院運営の合理化・効率化の視点ではなく患者さんの視点での再整備となることが求められます。新年度において具体的な検討が進められ、基本計画が策定されることになっています。

国のダム検証 「最も有利な案は大戸川ダム案」

Q 最も有利な案は大戸川ダム案とした国のダム検証の評価結果をどのように受け止めているのか？
A (知事) 検討主体である国がダム検証の手続きにのっとり、予断なく検証された結果と考えている。

Q 大戸川の治水安全度をどのように高めるのか？
A (知事) 大戸川については河川改修を優先させるということで取り組んでいるが、それだけで目標である戦後最大規模の洪水を流すことはできない。私も一定、ダムの治水効果というものは認めているが、それを造るかどうかは全体、上下流の流れの中で判断されるものである。

Q 河川整備計画を変更して、県道栗東信楽線を準備工事に位置づけるべきでは？
A (知事) 今後、ダム検証において事業継続の対応方針が決定された場合、県道栗東信楽線の付替工事に関しては大戸川ダム本工事と並行して行うこととされている。ダム本工事と先立って全線の整備を国に求めるのは難しいと考えられ、まずは付替県道大津信楽線との接続箇所を一部先行して実施する方策について国と協議していく。

Q 大戸川沿川の住民との対話を含めて、今後どのように取り組むのか？
A (知事) 長年にわたり水害に苦しめられている関係市や地域の意向は大変重く、こうした方々の意向をしっかりとり受け止め、丁寧に進めていく。まずは県として被害を少しでも軽減できるよう大戸川の河川改修を推進していく。



◆予算特別委員会 全体質疑◆ 県立図書館開館日の増加を検討

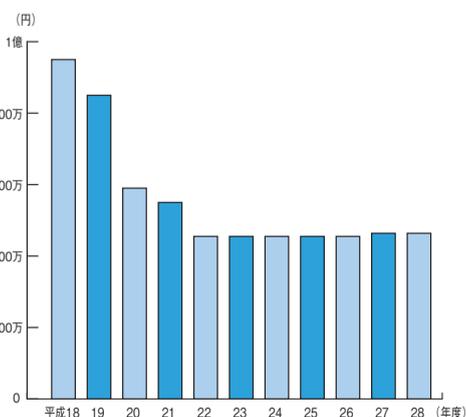
Q 県立図書館は経費縮減の観点から週2日休館することになり、日本一、開館時間の短い図書館になっているが見解は？
A (教育長) 全国に60館ある都道府県立図書館の内、週1日休館が48館、月1回休館が10館で、週2日休館しているのは本県のみ。厳しい財政状況の中、平成20年度から休館日を2日としたが県民へのサービスをつかさどる県立図書館として業務体制の検討をしてこなかったことについて申し訳なく思っている。今後、早急に休館日のあり方について検討する。

Q 県立図書館の新年度の図書資料購入費は4635万円。平成18年度の9500万円から半分以下になっているが十分と考えているのか？
A (教育長) 新刊図書全体に対する収集率は、平成26年度では17パーセントとなり、図書の整備が十分でない状況になっていると認識している。

▲平成28年1月、2月の開館状況

館名	1月	2月
県立図書館	1月1日(水) 17時～19時 1月2日(木) 17時～19時 1月3日(金) 17時～19時 1月4日(土) 17時～19時 1月5日(日) 17時～19時 1月6日(月) 17時～19時 1月7日(火) 17時～19時 1月8日(水) 17時～19時 1月9日(木) 17時～19時 1月10日(金) 17時～19時 1月11日(土) 17時～19時 1月12日(日) 17時～19時 1月13日(月) 17時～19時 1月14日(火) 17時～19時 1月15日(水) 17時～19時 1月16日(木) 17時～19時 1月17日(金) 17時～19時 1月18日(土) 17時～19時 1月19日(日) 17時～19時 1月20日(月) 17時～19時 1月21日(火) 17時～19時 1月22日(水) 17時～19時 1月23日(木) 17時～19時 1月24日(金) 17時～19時 1月25日(土) 17時～19時 1月26日(日) 17時～19時 1月27日(月) 17時～19時 1月28日(火) 17時～19時 1月29日(水) 17時～19時 1月30日(木) 17時～19時 1月31日(金) 17時～19時	2月1日(土) 17時～19時 2月2日(日) 17時～19時 2月3日(月) 17時～19時 2月4日(火) 17時～19時 2月5日(水) 17時～19時 2月6日(木) 17時～19時 2月7日(金) 17時～19時 2月8日(土) 17時～19時 2月9日(日) 17時～19時 2月10日(月) 17時～19時 2月11日(火) 17時～19時 2月12日(水) 17時～19時 2月13日(木) 17時～19時 2月14日(金) 17時～19時 2月15日(土) 17時～19時 2月16日(日) 17時～19時 2月17日(月) 17時～19時 2月18日(火) 17時～19時 2月19日(水) 17時～19時 2月20日(木) 17時～19時 2月21日(金) 17時～19時 2月22日(土) 17時～19時 2月23日(日) 17時～19時 2月24日(月) 17時～19時 2月25日(火) 17時～19時 2月26日(水) 17時～19時 2月27日(木) 17時～19時 2月28日(金) 17時～19時 2月29日(土) 17時～19時 2月30日(日) 17時～19時

県立図書館の図書資料購入費等の推移



未来に向けた確実な一歩 平成28年度予算から皆さんのお声を形にした事例を紹介します。

県立体育館が びわこ文化公園都市に移転

老朽化が進む県立体育館を大津市瀬田地域にまたがる「びわこ文化公園都市」に移転、新築する方針が明らかにされ、新年度予算に基本計画策定事業費2520万円が盛り込まれました。



昨年2月県議会の一般質問で、大学をはじめ立地する多様な施設や資源を活かすために「びわこ文化公園都市」での県立体育館の整備を求めたのに対して、知事は「びわこ文化公園都市の地の利を活かして、スポーツ推進や県民の健康づくりに貢献できる地域になるように検討する」と述べていましたが、こうした提案が実を結んだものと考えています。

機能や規模については、新年度に設置予定の懇話会で基本計画を策定する過程で検討されるということですが、単なる社会体育施設の整備に留まらず、健康づくりの拠点や医工連携や観光など産業振興の拠点、防災の拠点とすることで周辺地域の活性化につなげていくことが求められます。

想定される規模

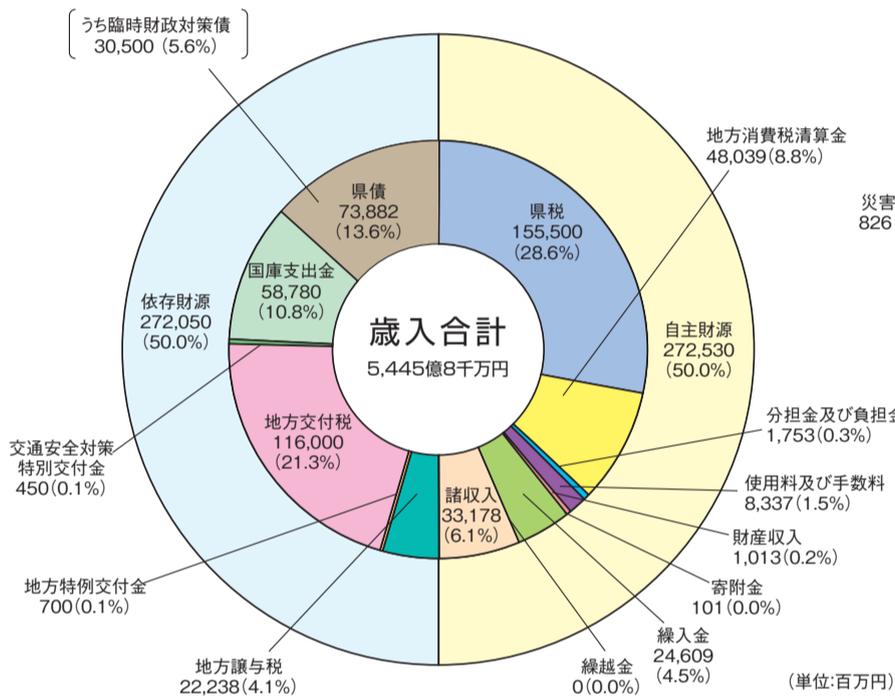
全国規模の大会、大規模イベントや各種興行の開催に対応できるアリーナ面積、観客数に応じたフレキシブルな活用が可能となる観客席を持つ規模

メインアリーナ	2700平米程度
サブアリーナ	1000平米程度
観客席	5000席程度(固定席・可動席・仮設席の合計)

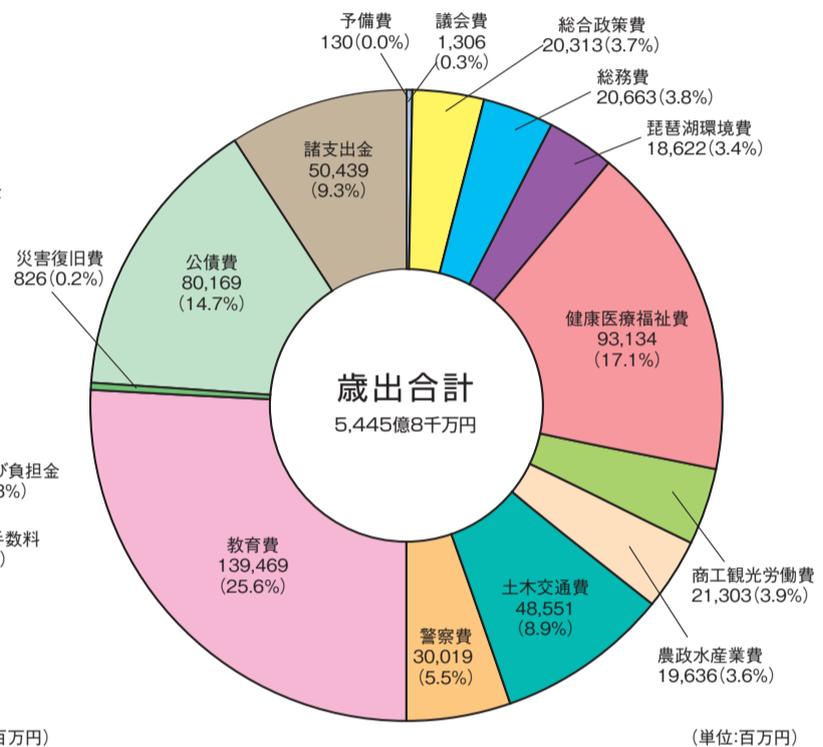
今後のスケジュール

平成28年度	基本計画および民生活調査
平成29～平成30年度	基本設計
平成30年度中頃～平成31年度	実施設計(平成31年度～造成工事)
平成32年度～	建築工事
平成34年度	竣工

●歳入予算の構成図



●歳出予算の構成図



子育て支援の充実

新たに年収470万円未満の第3子以降の保育料を無料にし、多子世帯の経済負担の軽減を図ります。長年、設置を求めてきた大津・高島子ども家庭相談センターが開設されます。

多子世帯子育て応援事業	1億3939万円
児童虐待防止対策事業	3899万円



水草対策の拡充

生活環境や漁業、生態系に大きな影響を与えている水草の大量繁殖に対応し、集中的に水草の除去を行うとともに、提案していた企業や大学と連携した水草対策の技術開発への支援が新たに実施されることになりました。

水草刈取事業・除去事業等	2億4760万円
水草対策技術開発支援事業	565万円



文化財保護の推進

平成28年度から10年かけて行われる比叡山延暦寺根本中堂の大規模修理を受託し、支援するとともに、他の指定文化財についても知事との政策協議の結果、補助を上積みしました。

指定文化財保存修理等補助事業	1億6973万円
人と地域が輝く歴史遺産活用モデル事業	58万円



がん対策の強化

がん対策推進条例に基づき、総合的ながん対策を進めます。新たに、がん患者の経済的な相談に対応する病院相談員の研修を実施するとともに、自己点検シートを作成し、患者や家族の経済的な不安に応えていきます。

がん患者の家計プラン事業	170万円
がん患者の未来の家族計画応援事業	202万円



滋賀県議会議員

さとう健司

〒520-2153 大津市一里山1丁目1-13-1305

◎厚生産業常任委員会
◎スポーツ振興特別委員会
委員長

皆様のご意見を
ぜひお聞かせください
sato@satoken.net